

5年後の予想布陣

投手王国復活も近い？

5年後の野手を予想するのは非常に難しい。捕手は年齢だけを見れば木下拓哉か加藤匠馬あたりが5年後のスタメン候補になるだろう。

内野は溝脇隼人の成長に期待。三遊間は高橋周平と京田がどこまで伸びているか。石垣雅海は長打力をより生かすため外野に転向するのが妥当だろう。

所属外国人選手

充実度

A

2018助っ人採点表

鳴り物入りで入団したジーはケガで1勝も挙げられなかった。一方、ガルシアはチーム最多の勝利を挙げる活躍。野手ではアルモンテが巧打で前半戦の打線を引き張り、8月にはピンエドがチームの月間安打記録を更新し、首位打者を争っている。投打ともに外国人選手に頼っている部分が多く、オフの契約更新に注目が集まる。

ロドリゲス(投)	C
ジー(投)	C
ガルシア(投)	A
R.マルティネス(投)	C+
ピンエド(内)	A
アルモンテ(外)	B+
モヤ(外)	C+
(育成) A.マルティネス(捕)	C

2018若手MVP

小笠原慎之介 21歳3年目

試17 勝5敗6S0H0防4.11

目を惹くような活躍をした若手はいなかったが、3年目の小笠原が徐々にとはいえ成長を見せている。自身初の開幕投手を務め、7月の巨人戦ではプロ初完封も記録した。9月に再び左ヒジを手術し、一早くシーズンを終えたが、来季の開幕には十分間に合う模様だ。ホップ、ステップときて、来季は大きなジャンプを決めてほしい。

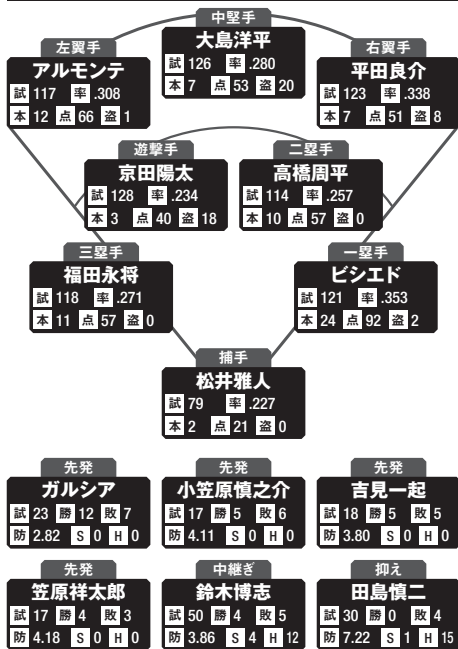


【写真協力】産経新聞社

投手は、野手よりも見通しがつきやすい。小笠原慎之介と今年飛躍した藤嶋や笠原に加え、柳もドラフト1位の意地で這い上がりた。昨年のドラフトで指名しなかった高卒投手がどこまで伸びているかも注目だ。

鈴木博は来年以降もリリーフとして起用するようだが、潜在能力を引き出すことができれば、先発でエースになれる器だ。むしろ性格的にも木下雄介のほうがクローザーに向いているかもしれない。

2018年主力選手



5年後の予想布陣

